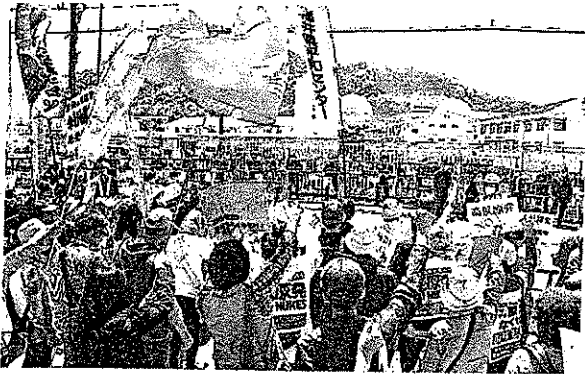


再稼働断念 申し入れ

高浜原発 市民ら350人抗議デモ



関西電力高浜原発4号機（高浜町）の再稼働を今月中旬に控え、反原発団体のメンバーらが7日、高浜原発ゲート前でデモ行進し、再稼働しないよう関西電力に申し入れた。8日に高浜町でリレー形式のデモを開始。県内各地を巡った後、12日に福井市内で集会を開く。

7日の抗議デモには県内や電力消費地の京阪神のほか、東京など全国各地から約350人が参加。原発近くの展望台からゲート前までの道のりを、「すべての原発を廃炉にしよう」と声を上げながら歩き、再稼働を断念するよう求める申入書を関西電力社員に手渡した。

続いて高浜町立石の町文化会館で開かれた集会で、全国の原発立地地域の市民団体メンバーがそれぞれの地域の現状を報告した。

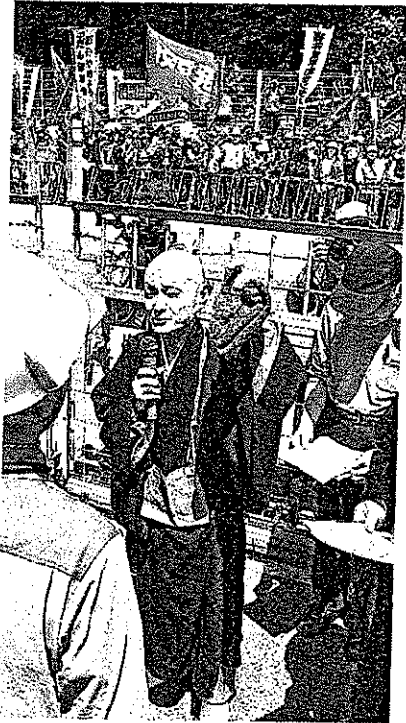
福島県大熊町の木幡ますみ町議は、4月29日に同県浪江町の帰還困難区域にある山林で起きた火事が1週間経っても鎮火しない状況

を説明。「（放射線量の高い地域での災害対応で）警察や消防、自衛隊など現場の公務員が危険にさらされている。福島を注視してほしい」と話した。

地元からは高浜町の東山幸弘さん（70）が、高浜原発のクレーン倒壊事故で関西から町民全体への説明がなかったことに触れ、「原発に頼っていても未来はないと、町内の雰囲気が変わってきた」と説明した。

集会の実行委員会代表の中島哲演さん（75）は関西からの参加者に、「それぞれの地域で、知事が再稼働に反対するよう運動をお願いしたい」と呼びかけた。

（大久保直樹）



⑤ 関西電力高浜原発のゲート前で、3、4号機の再稼働に抗議の声を上げる人たち

⑥ 関西電力の社員に高浜原発を再稼働しないよう求める中島哲演・実行委員会代表（中央）も高浜町田ノ浦